

施するとともに、高齢運転者によるアクセルペダルとブレーキペダルの踏み間違いによる事故を防止するため、自動車急発進防止装置の設置経費の一部を支援していきます。



安心・安全ネットワーク会議立哨活動

### 防犯対策

防犯対策につきましては、地域住民が安心して生活できるよう、双葉警察署、警戒パトロール隊、防犯指導隊等関係団体と連携を図り犯罪の防止に取り組みます。犯罪に対する抑止力の向上を推進するため、住宅用防犯カメラ、人感センサーライト等の設置経費の一部を支援していきます。高齢者がいる世帯を対象に振り込め詐欺等の特殊詐欺、悪質な電話勧誘などの被害を未然に防ぐため、特殊詐

欺防止機能がついた電話機等の購入経費の一部を支援していきます。令和7年度末をもって現在運用している見守りカメラのクラウドサービスが利用停止となるため、見守りカメラの機器更新を行い、通学する児童・生徒の安全確保及び犯罪抑止に引き続き取り組めます。

### 防災・防火対策

防災・防火対策につきましては、東日本大震災の教訓を活かし、災害発生時に住民を迅速かつ確実に避難させるため、防災行政無線や緊急速報メール、役場屋上LED防災情報システムを活用し情報を的確に伝えます。地震・津波災害から住民の生命を守るため、関係機関と連携のもと、町内全域を対象とした地震・津波避難訓練を実施し、防災体制の連携強化と住民の防災意識の高揚に取り組みます。町の災害対応力の向上と防災用トイレの普及啓発を目的として、災害発生時に避難所等へ配備できる「防災用トイレトラック」を導入するとともに、いざという時にネットワークに参加している全国の自治体が駆けつけ、助け合う「災害派遣トイレネットワーク」に加盟します。地域防災

の中核である消防団員の活動をICT（情報通信技術）でサポートするため、携帯電話で火災時に一斉通知、動態管理、水表示ができ、消防団の初動が早くなる「消防団アシストアプリケーションS.A.F.E.（セーフ）」を導入します。消防団、婦人消防隊と連携して予防消防に取り組むとともに、高齢者世帯においては関係機関と連携しながら火災予防啓発活動を実施します。住宅用火災警報器の設置率向上及び適切な維持管理による火災の延焼拡大の抑制を図るため、住宅用火災警報器の設置経費の一部を支援していきます。



地震・津波避難訓練

### インフラ施設の維持管理・整備

町内インフラ施設の維持管

### 『未来をつくる町』に こころの事業

#### ふくしま森林再生事業

ふくしま森林再生事業につきましては、間伐などの森林整備より森林の有する多面的機能の維持と表土の流出に伴い原発事故による放射性物質の拡散防止を図ることを目的として計画的に取り組めます。令和7年度においては、上浅見川字狼山地区において約43ヘクタールの整備を目指します。町の大切な水資源確保のためには水源地周辺の森林整備が必要不可欠となることから、森林整備における作業コスト軽減による生産性の向上及び労働条件の緩和を図るため、林業専用道「狼山・叶沢線」の整備に継続して取り組み、令和8年度完成を目指します。五社山山頂周辺に整備された遊歩道等の施設が経年劣化により腐食している状況にあることから、森林環境譲与税を活用し計画的に改修を行い登山者の安全確保と地域住民が森林に親しめる環境整備に取り組んでまいります。「第36回巨木を語ろう全国フォーラム福島・広野大会」を開催することで、巨木・



広野こども園親子遠足



広野産特別栽培米の稲刈り

理及び整備につきましては、道路、橋梁、トンネル、下水道施設の点検を実施し、道路や下水道施設の計画的な補修による施設の長寿命化を図り、安全確保に取り組めます。

### 道路整備

道路整備につきましては、危険箇所、未改良区間の解消を計画的に実施し、町民の生活環境の向上を図り、安心安全な道路網を形成し、有事の際の緊急車両の通行及び通学時の安全確保に取り組めます。

### 折木地区土砂採取事業

折木地区土砂採取事業につきましては、硬質な岩盤の出現により途中で中止となった土砂採取事業を安全に完了させるため林地開発の基準に基づき工事を実施し森林回復に取り組めます。

### 『ひとを生かす』に こころの事業

#### 農業

農業につきましては、営農再開13年目となります令和7年度に営農を行う農家に対しては、国の経営所得安定対策を活用し、農業経営の安定を図ります。本町のような中山

樹木などの自然の恵みや緑豊かな美しい里山の魅力を全国に発信し、森を育てていくことで自然環境保護への意識啓発を図り、千年後の未来へ巨木をおくり届けていきます。**福島イノベーション・コースト構想の推進**

福島イノベーション・コースト構想の推進につきましては、福島イノベーション・コースト構想に掲げる多様な産業を集積し、福島第一原子力発電所の事故により失われた地域の生業を再生させるため、「研究開発」、「産業化」、「人材育成」、「司令塔」の4つの機能を有する福島国際研究教育機構（FIREI）が浪江町に設置されました。地域の現状や課題を整理し、技術の実用化及び具体化を念頭に本格的な事業化を推進するため、研究者や専門家をはじめ知見を有する人材の配置、支援を行い、完成した東町産業団地、駅東産業団地と共に企業誘致を積極的に進め、地元企業とベンチャー企業・スタートアップ企業とのマッチングやサプライチェーンの構築に取り組んでいきます。教育の丘には、県立ふたば未来学園中高一貫校や広野小・中学校の児童・生徒、約1、

000人が日々勉学に励んでおり、FIREI（エフ・アイ・レイ）に進出する研究機関が求める人材育成を念頭とした実学の場として、最も重要な位置を占めると考えています。今後、より高度な就学の間である大学などの高等教育機関と連携を深め、協定を締結している東京大学アイソトープ総合センター、早稲田大学、東日本国際大学、福島高専の拠点となる研究施設や研究等の充実を図り、地域の復興を支える人材育成に取り組んでいきます。

### 復興関連事業

復興関連事業につきましては、東日本大震災及び原子力事故から14年が経過し、第二期復興創生期間から、更にその先に歩みを進めるにあたり、広野町復興計画に掲げる基本理念・目的を達成し、復興事業のシンボルに位置付けている広野駅東側第一期開発地区の産業団地並びに第二期開発地区の住宅団地、広野駅周辺の整備を着実に進めていきます。住宅団地整備事業については、事業者による造成工事が完了し販売を開始しており、多くの住宅メーカー様より関心をいただいています。若者・子育て世代の定住、県外都市部等からの移住に重